



第2回 全体会（令和4年12月22日開催）

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	坂本委員	【予算額の確認について】 資料1別紙の経営課題3の予算額について P2「20,176千円」 P5「21,076千円」 となっているが、どちらが正しいのか。	P5「21,076千円」が正しい金額となります。	当日の回答のとおり	総務課
2	有馬委員	【プレーパークについて】 プレーパークは、陶芸や楽器、ダンスなど、今の 子のニーズに合ったものを考え、多様性をもっと 広げるべきと思う。 具体的な事業内容に係るプレゼンないしワーク ショップができないか。	プレーパークでは、過去に調理実習やダンス教 室などを実施しています。引き続き子どもたちの 学びにも結びつくような魅力のあるイベントを行っ ていきたいと思っています。 事業内容については、どのようなアイデアを取り 込むことができるのか、委託事業者と検討したい と思います。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (子育て支援)
3	有馬委員	【運営方針 経営課題2 課題認識】 ・「西成区の魅力を情報発信し」と書いてあるが、 これは何を意図しているのか。 ・「様々な関係機関が連携し」の関係機関は、ど こを指しているのか。 ・「横断的かつ包括的な支援」とは具体的にどう いうことなのか。	—	・区の歴史、文化、観光資源や芸術など、区の魅 力を広く情報発信することで、区民の方に魅力を 再認識していただき、また、区外から多くの方が 来訪することにより、人と人がつながりにぎわう まちづくりを進めていきます。 ・「関係機関」は、介護関係者・福祉施設・地域包 括支援センター・障がい者基幹相談支援セン ター・社会福祉協議会・民生委員等、要援護者に 関わる様々な機関の事を指しています。 ・「横断的かつ包括的な支援」とは、従来の縦割 りの分野別・担当制ではなく、様々な関係者が横 のつながりを持ち、それぞれの関わりをまとめ、 情報の共有や支援方針を立て支援していくこと です。	総合企画課 保健福祉課 (地域福祉)

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
4	橋本委員	【地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について】 具体的にどのような内容で進められているのか。登録して何年もなるが、区役所や社協から連絡があったことがなく、登録者が「見守られている」という実感できることが必要ではないか。	この事業は、大阪市が社会福祉協議会に委託している3つの事業で、①要援護者名簿の作成。②地域で孤立されている方への支援。③認知症等で徘徊する高齢者の発見協力者の登録を行っています。 実際の見守りについては、民生委員の方、町会長さん、地活協などの団体へ作成した名簿をお渡しし、社協と協力して見守りを行っています。	要援護者名簿へ登録されている方に「見守られている」と実感していただくことは、課題であると認識しています。 引き続き、地域・見守り相談室・区役所等が連携し、「見守られている」と実感していただけるよう、取り組みを進めていきたいと思ひます。	保健福祉課 (地域福祉)
5	南委員	【プレーパークについて】 事業を始めて10年程経過すると思う。事業を評価する評価軸を教えてください。 プレーパーク事業を通して生きる力を身につけ、しっかりと勉強をしてほしい。	プレーパーク事業は平成27年度より実施しています。 事業の評価は、利用者数や利用者アンケートを使用しています。 魅力あるプレーパークに向けて子どもたちの学習意欲を喚起するようなイベントも引き続き実施していきたいと思ひています。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (子育て支援)
6	南委員	【外国人に対する結核対策について】 最近、区内に居住されるベトナムの方が多くなっている。ベトナムの方は結核の罹患率が高いため、区役所が行っている結核対策の取り組みが十分に伝わっているのか気になる。	大阪市では、西成区も含め、保健所の方で日本語学校の生徒に対し結核健診を行っています。 学校に行かれていない方への取り組みについては今後方法を検討していきたいと思ひます。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (地域保健)
7	尾上委員	【西成区内の結核対策について】 結核はかなり減ってきており、かなり良くなったと思うが、あいりん地域と比較すると西成区全体としては悪くなっているように思うが、それはなぜなのか。	結核の罹患率は、あいりん地域としても、西成区全体としても減少している状況です。今後も引き続き、罹患率を低下させるための取り組みを行ってきたいと思ひます。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (地域保健)
8	伊藤悠子委員	【結核患者に対する治療支援について】 前回配付資料の中で、「あいりん地区以外の患者に対してのリスクアセスメントを実施」と記載があるが、ここでいうリスクとはどういうものなのか。 ・陳旧性の再発や慢性疾患の合併などで一旦治った結核が出てきているのか、暮らしぶりよっての初発の結核なのか気になる。 ・罹患患者が多い年齢はどれぐらいなのか。 ・DOTSを実施するなど、服薬中断がないような取り組みを行っているが、中断例が一定数あるのを見るに薬剤の抵抗性がある結核がもしかすると広がっているのではないか。	・全数ではありませんが、様々な感染ケースを分析し、遺伝子解析でアセスメントを行っており、結果として、高齢者の陳旧性の方の再燃が多い傾向にあります。 ・西成区内の患者につきましては、高齢者が多数を占めています。 ・DOTSについては、保健師が服薬管理を行っており、令和4年度の目標値である、治療中断例3%以下は達成しています。 今後ご意見をいただきながら、市民の方に状況を分かりやすく伝えていければと思ひます。	運営方針にありました「あいりん地域以外の患者に対して、リスクアセスメントを実施したうえで適切な服薬支援を選択して治療完了へ導く。」でのリスクは、治療中断のリスクとなります。治療中断のリスク(治療中断歴、アルコール・薬物依存、前回治療終了から2年以内の再発等)などを検討し、患者の状況に応じて適切な服薬支援を選択、実施しております。	保健福祉課 (地域保健)

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
9	伊藤悠子委員	【第2期西成区地域福祉計画について】 前回の会議で、地域の様々な資源・居場所を活用して、子どもや高齢者や障がい者などが一緒に参加できるような交流の継続と拡大という説明があったが、何か好事例があれば教えてほしい。	各地域において、ふれあい喫茶で交流を行ったり、地域の集会所を利用してポッチャの交流会を行ったり、保育所や老人施設の人が一緒にイベントを行うなど、各地域で様々な活動が行われています。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (地域福祉)
10	伊藤悠子委員	【西成版サービスハブ運営事業について】 この事業の対象は生活困窮者だけなのか、様々な課題を持った人が誰でも相談できるのか。	本事業は生活保護の受給者を対象に実施しております。 令和元年度からモデル的に実施しており、4年間で支援件数300件を事業目標として取組みを行っています。	当日の回答のとおり	総合企画課
11	有馬委員	【自治会への加入促進に関するチラシについて】 前回会議の場で、区役所で自治会への加入促進に関するチラシの作成を予定していると話があったが、いつどのような形で作成を予定しているのか説明をお願いしたい。	—	チラシは現在作成中(A3/2つ折り)であり、令和5年3月上旬頃の完成を予定しています。このチラシは区役所が行う自治会への加入促進の取組に使用するほか、各地域への配付も予定しており、自治会への加入促進にご活用いただければと思います。	市民協働課
12	有馬委員	【班長推薦書について】 班長推薦書は区役所で作成していないと聞いているが、その説明が十分に伝わっていないため、地域が混乱している。	—	班長推薦書は、大阪市地域振興会が作成してきたものであり、班長推薦書が必要な場合はコピー又は地域独自で作成いただいている旨を、地域振興会よりお聞きしています。 なお、以前に区役所が地域振興会事務局を行っていた時は、用紙をお預りしていましたが、現在区役所では取り扱っておりません。	市民協働課
13	村井委員 (意見票)	【結核について】 あいりん地域の対応結核に対する対応について、現在は漠然と結核が多いという悪いイメージが根付いているので、本会議の報告のように減少・改善が進んでいることを具体的に示し、イメージの改善を図ってほしい。	—	健診勧奨の広報などでも改善状況を取り入れてお伝えしていければと思います。	保健福祉課 (地域保健)